

令和4年度 生駒市地域・社会活動創出支援事業(まちサポいこま)採択事業一覧

| 申請NO | 実施主体名 | 事業名 | 地域の課題 | 事業概要 | 総事業費 (千円) | 採択額 (千円) | 申請回数 |
|------|------------------|------------------------|---|---|--------------|-------------|---------------------|
| 1 | 一般社団法人ひらく | ひらく学校 | 生駒市でも不登校支援を実施しているが、実際に安心して仕事を体験できる場所や不登校以外の学生への進路支援事業が少ない。 そのため、すべての学生が安心して自分の働き方を模索できる体験事業が必要と考える。また、農業実習などの発展から、過疎化の進むエリアで遊休農地を活用する地域活性も必要だと感じる。 | 稲作や竹林整備などの自然体験を通して、自分で食を生み出すリアリティを感じてもらい、学生社会の中で生きる力を育む。また、職業人との交流体験やアート表現活動を通して、自主性を高める「総合」の時間も設ける。 【対象者】進路を見出せずに悩んでいる学生・社会性を身につけるために様々な交流を希望している学生 | 1,565 | 200 | 2回目 (令和3年度からの継続) |
| 2 | codomoney | 子ども向け金融教育教室「codomoney」 | 金融教育の必要性は高まっているが、学校の授業の一環として、主体性をもたずに終わってしまう子どもが多いと感じる。 金融教育にとって大切なことは、子どもたち一人一人が楽しみながら、自分ごととして落とし込めることだと考えているため、実際に体験ができるセミナーを実施する。また、金融教育に係るカリキュラムを作成し、認定講師の育成も目指す。 | 元銀行員の講師によるセミナーでのインプットから、マルシェの開催によるアウトプットまで、机上のみではない体験型の教育を提供する。また、金融教育の教材として生駒市の名産やお店の商品を取り入れ、自分たちが住む生駒市の活動者の話を聞き、理解を深める。 【対象者】小学生～高校生 | 712 | 300 | 1回目 (令和4年度からの新規) |
| 3 | 特定非営利活動法人コドモオフィス | 発達の偏りのある児童生徒の余暇支援事業 | 発達障がい児の中には、特定の分野に強い関心を示すタイプがあり、その偏りから同年代の仲間関係を築くことが難しい。 そのため、同じ関心事を共有する集団での活動を通して、仲間と語り合うことや協力することの楽しさを体験しながら集団への帰属感をもってもらう。また、好きなことを追求しながら知識や技能をより高め、将来の進路選択に役立つような学びの場として機能する活動を目指す。 | 余暇支援事業として4つのクラブを運営。1つの趣味分野をテーマとして、強い関心を示す類似性の高いメンバーが集い、ともに活動する中で他者の視点を意識した考えや表現力を研く。また、将来の進路選択や就労に結びつくような学びの場を提供する。 【対象者】小学生～高校生 | 674 | 300 | 1回目 (令和4年度からの新規) |
| 4 | ローカルフォトikoma | ikomaローカルフォトアカデミー | 高齢化が進み、地域を支えてきた農家や商店も後継者不在で廃業するケースが多く、まちの歴史や文化、そこから生まれた知恵の継承が途絶えつつある。 そのため、住民と周辺地域の人々が生駒の魅力や再認識するきっかけを作り、シビックプライドの醸成と関係人口の増加に貢献することが必要だと考える。 | 地域課題への取り組みに造詣の深い写真家を招き、まち歩き+撮影の事業を実施。生駒市に住む人々の暮らしを、写真や記事を通して市の内外に広く発信し街の魅力を伝える。そのために必要な撮影・取材の実践的な講座を行い、情報発信の担い手となる地域クリエイターの育成を図る。 【対象者】生駒の街とその文化的背景に関心を持つ人 | 660 | 300 | 1回目 (令和4年度からの新規) |